

科目名称	臨床動作分析法
授業コード	BG282
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	豊田 輝
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	当該講義は、運動学や運動学実習で学んだことなどを基盤として、理学療法における重要な評価方法のひとつである「動作分析」について学ぶ。具体的には、理学療法評価における「動作分析」の位置づけを理解した上で、実際に片麻痺者などの動作を動画で観察・分析を行い、その評価手法を習得する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士の臨床経験を有する教員が動作分析の知識・技術や機能障害と能力障害の関係性を教授する。
到達目標	ディプロマ・ポリシーの理学療法評価法の修得目的達成のために、本科目に関し、具体的には以下の到達目標がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法評価における「動作分析」の位置づけを理解できる。 ・動作の「観察」と「分析」の違いを説明できる。 ・正常基本動作を分析することができる。 ・異常基本動作を分析することができる。 また、本科目は、カリキュラム・ポリシーである「理学療法士として必要な実践的臨床能力である評価法」のひとつとして配置している。
計画・内容	1) 基本動作分析の意義と方法 担当教員：豊田輝（理学療法士） 2) 正常・異常な基本動作の観察・分析（立ち上がり）担当教員：豊田輝（理学療法士） 3) 正常・異常な基本動作の観察・分析（寝返り）担当教員：豊田輝（理学療法士） 4) 正常・異常な基本動作の観察・分析（起き上がり）担当教員：豊田輝（理学療法士） 5) 正常・異常な基本動作の観察・分析（歩行）担当教員：豊田輝（理学療法士） 6) 正常・異常な基本動作の観察・分析（歩行）担当教員：豊田輝（理学療法士） 7) 正常・異常な基本動作の観察・分析（歩行）担当教員：豊田輝（理学療法士） 8) 正常・異常な基本動作の観察・分析のまとめ 担当教員：豊田輝（理学療法士）
授業の進め方	開始当初は、パワーポイントを使用した授業形式で、映像資料など適宜活用する。その後は、グループ単位で実際の動作を観察・分析を行う演習授業を適宜入れながら、各自による課題レポート作成を求める。その際、指定の教科書などを参考にして作成すること。
能動的な学びの実施	指定教科書に掲載されている症例動画から各自で動作観察・分析を行い課題レポートを作成するほか、授業内グループワークではその発表を行う。
授業時間外の学修	教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること（各回1～2時間）
教科書・参考書	< 指定教科書 > 豊田輝（編集）、症例動画でわかる理学療法臨床推論 統合と解釈実践テキスト、羊土社、2021年 < 参考書 > 小林麻衣（責任編集）、15レクチャーシリーズ 理学療法作業療法テキスト 臨床運動学、中山書店、2015年 石井慎一郎（編著）、動作分析 -バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践- MEDICAL VIEW、2013年

成績評価方法と基準	課題レポート（40%）、授業態度（10%）、期末試験（50%）を総合して評価する。
課題等に対するフィードバック	課題レポート内容について授業の中でフィードバックを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	実際に動作分析を行う際には、動画撮影が可能なデジタルカメラや携帯電話（動画撮影保存機能付き）などの準備を求める。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Zoomによるオンライン授業と課題学修を組み合わせで実施する。 <p>成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中課題50%、期末課題レポート50%、で評価する。